

文化芸術と共生社会を考えるトークカフェ

滋賀県では、障害の有無にかかわらず誰もがともに多彩な文化芸術活動に親しみ、活躍できる環境の実現を目指し、この実現に向けて、滋賀で人と社会と文化芸術をつなぐプロジェクト“SANPOh(さんぽう)”に取り組んでいます。

このプロジェクトの一つ、「文化芸術と共生社会を考えるトークカフェ」は、「芸術と共生社会」をテーマに、様々な分野で活躍するゲストをお迎えし、活動内容をお聞きしながら、参加者が考えを深めていくオンライントークイベントです。

第6回「障害の有無を超えて人生を伝える ～るんびにい美術館とであい授業～」

ゲスト：^{いたがきたかし}板垣崇志（しゃかいのくすり研究所代表／るんびにい美術館ディレクター）



今回のゲストは、岩手県花巻市にある「るんびにい美術館」でディレクターを務めている板垣崇志さんです。

知的障害がある人たちと共に長年アート活動を続ける板垣さんは、彼らから見えている世界をいかに届けるかということに取り組んでおり、当事者がキュレーションする展覧会や、講師として中学校に出向いて人生を語る「であい授業」など、様々な独創的なプログラムを展開しています。

板垣さんから、美術館やこれらのプログラムについて紹介していただきながら、障害の有無に関わらず人と人が対等につながることにについて、考えていきたいと思えます。

■日時：2022年10月19日(水)19:00～21:00

■対象：ゲスト・内容に関心のある文化芸術関係者、福祉関係者などどなたでも参加可能です。

■モデレーター：藤原顕太(文化芸術による共生社会づくりコーディネーター)

■参加方法：オンライン(Zoom)

■定員：30名

お申し込み方法

こちらのフォームからお申し込みください →

締切：2022年10月18日(火)17:00まで



参加費無料



滋賀で人と社会と文化芸術をつなぐプロジェクト“SANPOh”とは

滋賀県の色んな地域で、障害の有無に関わらず、誰もがともに文化芸術に触れ、楽しめる場を増やしていくためのプロジェクトです。文化や福祉などの分野を越えて、地域の「つなぎ手」として活躍する人たちが参加し、活動しています。

SANPOhの詳細は →



Facebookはこちら →



■本事業に関するお問合せ

公益財団法人びわ湖芸術文化財団

法人本部 地域創造部(火曜休館)

TEL:077-523-7146 FAX:077-523-7147

E-mail:shiga.kyousei2021@gmail.com

主催：滋賀県、公益財団法人びわ湖芸術文化財団
令和4年度 文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」

